



令和6年

8月号

保育所だより



社会福祉法人平田保育会

みなみ保育所

62-2374

090-5700-9459

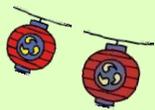
待ちに待った梅雨が明け、うれしそうにプール遊びを楽しむ子どもたち、いよいよ夏本番です！

子どもたちは暑い夏だからこそ思いきりできる遊びを保育士や友だちと一緒に楽しんでいます。今月末にある「みなみっこまつり」の準備も少しずつ始めていて、それぞれの年齢での発達を踏まえた制作を行っています。

今年の夏は、危険な暑さで熱中症警戒アラートが毎日のように発令されています。子どもたちは体が小さいので、大人より地面からの熱の影響を強く受けます。こまめに水分補給をし、疲れたり体力が落ちたりしていると感じられる時には、無理をせずに休息を取るよう心がけましょう。

8月の行事予定

- 2日(金)七夕会(ふれあいデー)
- 5日(月)身体測定週
- 6日(火)一日保育士⑤(3歳児以上)
- 8日(木)保育所開放日
- 9日(金)修了児招待日
布団持ち帰り
保護者会役員会 18:30~
- 11日(日)山の日(祝)
- 12日(月)振替休日(祝日)
- 13日(火)~15日(木)希望共同保育(平田保育所にて保育)
- 19日(月)避難訓練
- 20日(火)集金日
" 巡回相談日(山田心理相談員来所)
- 22日(木)誕生会
" 布団持ち帰り
- 31日(土)みなみっこまつり・保育所開放日



9月の主な行事

- (未定) プール納め
 - 6日(金)一日保育士⑥(3歳児以上)
 - 25日(水)一日保育士⑦(3歳児以上)
- ★印の行事につきましては後日お便りで詳しくお知らせします。

お知らせ・お願い

●希望共同保育について 13日(火)・14日(水)・15日(木)

この日は希望保育(於:平田保育所)とさせていただきますのでご協力をお願いいたします。保育を希望される方は弁当と水筒を持ってきてください。

事前に申し込まれた方に、17日の土曜共同保育と合わせて申し込み用紙を配りますので、8月6日(火)までに提出してください。

●みなみっこまつりについて 31日(土)

31日(土)は17時よりみなみっこまつりを行います。ご家族で楽しいひと時を過ごしていただけるよう計画しています。夕方からの行事ですので、ご家庭でお昼寝をするなど、体を休め元気に参加できるようご協力ください。詳細は後日お知らせします。

~ご寄贈ありがとうございました~

保護者様~カラーペン 伊野地区手芸まわりの会~お手玉

職員出張・研修のお知らせ

※印は午後からの研修

- 2日※保幼小連携推進合同研修会~多々納
- 2日※フレール館セミナー子ども理解~黒田(Web)
- 6日※フレール館セミナー応急処置と予防~多々納(Web)
- 6日~7日 キャリアパス対応生涯研修(初任者コース)~神門
- 9日※県私立連盟研修会~森脇
- 19日※保幼合同研修会~樋野
- 20日※保幼小連携推進委員会生活指導部会
- 20日※幼児期の運動遊び~原智子
- 24日 食育推進研修会~来海・石飛
- 28日 主任保育士・主幹保育教諭研修会~森脇

~職員について~

竹内真由美保育補助員は7月末で退職しました。



夏野菜を収穫して、クッキングをしたよ。



きりん組



ぞう組



くま組

とうもろこしの皮をむいたよ。



うさぎ組



りす組



ひよこ組

ラジオ体操は楽しいよ。

○保育目標~夏ならではの遊びを十分に楽しもう

今月も、水遊びやプール遊び、泡、氷など年齢に合わせて様々な感触を味わったり、冷たい水の気持ちよさや面白さを感じたりしながら遊びます。

夏ならではの遊びが楽しめるよう遊びを工夫し、一人一人の「楽しい・やってみよう」気持ちに寄り添うよう環境を整えます。

○生活目標~生活リズムを整えよう

感染症や熱中症などの予防には『早寝・早起き・朝ご飯』の生活リズムを整えることがとても大切です。お盆休みなどは、大人の都合に合せた生活リズムになりがちですが、休日も子どもを中心に起きる時間を決めて、朝食を食べることが生活リズムを定着させるポイントです。

保育所でも、絵本や視聴覚教材を使って生活リズムを整えることの大切さについて伝えていきます。

~バースデープロジェクトに参加しました~

7月22日(月)に助産師の玉串さんと金子さんをお迎えし、ぞう組と一日保育士に参加いただいた保護者の方と希望いただいた保護者の方を対象として「バースデープロジェクト」を行いました。

出産劇や紙芝居を通して、自分の命がどのように祝福されて誕生し、守られて大きくなってきたのかということをお話いただきました。また、水着で隠れるところは「プライベートゾーン」といって、本人の許可なく触ってはいけない場所であること、むやみに人に見せてはいけない事を教わりました。その後、新生児と同じ大きさと同じ重さの人形を抱っこしたり、胎児の心音を聞いたりもしました。親子で命の大切さを一緒に考えたり、感じたりする時間を過ごすことができたのではないかと思います。



ほっとルーム ~見て!子どもの作品は宝物~

子どもの造形活動での自分で考え表現したり、発想したりする体験は、生活の中で自分の意見を出したり、友だちと相談したり、折り合いをつけたり、別のアイデアを考えたりといったコミュニケーション力や交渉力のベースになります。手指の力や発想力を育てるためだけのものでもなく、子どもが将来にわたって質の高い生活を送るための礎になる力を育てます。

保育と教育に関わるすべての人のためのウェブマガジンこととも Hp参照

保育所では、子どもたちは毎日のように、いろいろな作品を作ったり、絵を描いたりしては「見て」と言って保護者の方に見せている様子を見かけます。また、きれいな形や物が作れないと思うと「やって」と言って作ってほしい様子もあります。大人は、どうしても、きれいな出来上がりの作品をよしがちですが、できるまでの過程や思いを聞いてみると楽しい話が聞けるとおもいますよ。整った形ではなくても、作品にこめられた思いやできた過程をたくさん聞いてもらうことで、子どもたちの生きる力を育てていきたいですね。